

平成 2 5 年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業報告書

(平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日)

第 1 財団運営の総括

1 会議の開催状況

年月日	名 称	提出議案等
25. 4. 1	第 1 回理事会	○評議員会の招集について（書面決議）
	第 1 回評議員会	○理事及び監事の選任について（書面決議）
25. 4. 18	第 1 回評議員・理事・監事合同会議	○一般財団法人松本市芸術文化振興財団の概要について ○平成 2 5 年度事業計画及び収支予算について
25. 5. 31	第 2 回理事会	○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団収支補正予算（第 2 号）について ○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団事業報告について ○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団決算報告について ○評議員会の招集について
25. 6. 17	第 2 回評議員会	○評議員の選任について ○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団収支補正予算（第 2 号）について ○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団事業報告について ○平成 2 4 年度財団法人松本市教育文化振興財団決算報告について
25. 8. 6	第 2 回評議員・理事・監事合同会議	○美術館の運営方針について ○まつもと市民芸術館の創造発信型事業について ○まつもと市民芸術館における自主事業の内容変更について ○まつもと市民芸術館嘱託職員の飲酒運転に伴う交通事故について ○松本市音楽文化ホールの窓ガラス破損事故について
25. 12. 19	第 3 回評議員・理事・監事合同会議	○平成 2 6 年度事業概要について ○松本市音楽文化ホール専属カガニストの新規採用について ○美術館駐車場における車両破損事故について

26. 3. 17	第 3 回理事会	○平成 2 5 年度収支補正予算（補正第 1 号）について ○平成 2 6 年度事業計画及び収支予算について ○評議員会の招集について
26. 3. 20	第 3 回評議員会	○平成 2 5 年度収支補正予算（補正第 1 号）について ○平成 2 6 年度事業計画及び収支予算について

2 所管業務

平成 2 5 年度は、松本市から新たに松本市波田文化センターの指定管理者として指定を受け、また、まつもと市民芸術館の協定期間の更新により、松本市美術館、松本市音楽文化ホールとともに 4 施設の管理運営を行いました。

特に自主事業においては、松本市音楽文化ホールメインホールのリニューアルオープンに合わせた記念コンサートの開催やまつもと市民芸術館開館 1 0 周年にふさわしい厳選したプログラムを提供し、市民本位の事業運営に努めました。

3 厳しい財政状況への対応

依然として厳しい財政状況のなかで、劇場法制定による助成制度の拡充の機会を捉え、国をはじめとする助成制度の積極的な活用により、自主事業の財源確保を図るとともに、効率的な事業運営による経費の縮減に努め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場を提供しました。

4 環境問題への対応

東日本大震災による原子力発電所の事故を教訓として、利用状況による開館時間の短縮、冷暖房の適切な温度設定、不要な照明のこまめな消灯など省エネルギーに取り組むとともに、各施設でのライトダウンや美術館におけるキャンドルナイトの開催など、市民への啓発も行いました。

5 財団の改革

- (1) 公益法人制度改革関連法の施行（平成 2 0 年 1 2 月 1 日）を受けて、平成 2 5 年 4 月 1 日に一般財団法人に移行しました。
- (2) 移行に当たり、一般財団法人松本市芸術文化振興財団に改称し、新しく定款を定め、組織体制の見直しを図りました。
- (3) 新たに加わった波田文化センターには、管理運営が円滑に行えるよう、市民芸術館の中堅職員を配置するとともに、支配人が館長を兼務することとしました。

6 協働事業

中心市街地の賑わいと市民が文化芸術に触れる機会を効果的に創出するため、一昨年に引き続き、市民ボランティア、関係商店街団体との協働により「まつもと街なか大道芸」を開催しました。中心市街地 2 1 か所で 3 3 組のパフォーマーによる街を“舞台”とした大道芸は、行き交う人々が気軽に鑑賞し、5 万 6 0 0 0 人も皆さんに楽しんでいただきました。

7 職員体制

平成26年3月31日現在

単位：人

区分	部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計	
事務局	市職	局長	1	次長 兼会計課長	1	次長補佐 兼会計係長	1	一般事務	1	4
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	3			4
	財団							一般事務	1	2
								売店事務	1	
計				1		3		2	6	
音楽 文化 ホール	市職					館長補佐	1	一般事務	1	2
	財団			館長	1	制作ディレクター	1	一般事務	3	8
								企画営業	1	
								企画広報	1	
								オルガニスト	1	
計				1		2		7	10	
市民 芸術館	市職					係長	1	一般事務	1	2
	財団	芸術監督	1	支配人	1	プロデューサー	1	一般事務	4	19
								企画制作	4	
								広報	1	
								舞台技術	7	
計		1		1		2		17	21	
波田文 化セン ター	財団			館長 (芸術館支配人兼務)		係長(企画制作兼務)	1	一般事務	1	3
								舞台技術	1	
計						1		2	3	
合計	市職		1		2		6		3	12
	財団		1		2		3		27	33
	計		2		4		9		30	45

第2 各施設の事業報告

1 松本市美術館

活 動 の 概 要

1 基本目標

次に掲げる項目を基本目標として、管理・運営を行いました。

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す4つの柱〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
- (3) まつもと市民芸術館・音楽文化ホール等の市の文化施設とも情報交換や協力をしながら管理運営を行います。

2 業務内容

- (1) 施設の管理
 - ア 施設警備
 - イ 施設、設備、備品の保守・維持管理・小規模修繕
 - ウ 施設清掃 など
- (2) 施設の運営
 - ア 美術館の観覧及び利用の受付、許可、貸出
 - イ 受付・案内、監視業務
 - ウ 使用料の決定、徴収及び管理
 - エ ミュージアムショップ運営 など
- (3) 経営管理
 - ア 日報・定例報告
 - イ 施設管理経費の支払い
 - ウ 関係機関との連絡調整 など

3 施設の利用促進

- (1) 常にお客様の目線に立ったサービスを心がけ、利用してよかった、また来たいと思っただけのよう、ホスピタリティの向上を図りました。
- (2) 展覧会、イベント、市民ギャラリー等の関係情報について、広報、報道等への事前の周知をきめ細かく実施しました。
- (3) 保守点検等、施設維持管理に必要な業務を休館日に行うなど効率的に実施し、安心・安全・安定・快適の提供ができるよう施設管理に努めました。
- (4) 子育て家族にも気軽にアートを楽しんでもらうため「子育てパパママの美術鑑賞日」を年間25回設定し、延べ29人の託児を行いました。利用者からは「ゆっくり美術館を見ることが出来てとてもリフレッシュ出来ました」等の声を頂いております。

4 魅力あるミュージアムショップの運営

- (1) 魅力的な商品の選定、人気作家や地域をテーマとした商品の選定、季節や特別展ごとの模様替えなど、新鮮で魅力あるショップづくりを行い、特にメアリー・ブレア原画展では、多くのお客さまに楽しんでいただきました。

(2) 販売状況

期首在庫(a)	期中変動分				売上原価 (a+b)-(c+d+e)
	期中仕入(b)	期末在庫(c)	棚卸減耗損(d)	商品評価損(e)	
26,571,956円	37,616,611円	26,273,044円	58,427円	26,657円	37,830,439円
(期中販売額) 50,364,497円 — (売上原価) 37,830,439円 = (商品販売益) 12,534,058円					

主な事業内容【参考】

1 観覧者数 開館日数313日 (24年度309日)

区分	25年度(人)	24年度(人)	前年度対比		
			増減(人)	対前年度比(%)	
有料	個人	64,721	75,474	△ 10,753	85.8
	団体	612	887	△ 275	69.0
	計	65,333	76,361	△ 11,028	85.6
無料	20,415	28,022	△ 7,607	72.9	
合計	85,748	104,383	△ 18,635	82.1	

2 施設利用者数

区分	25年度(人)	24年度(人)	前年度対比	
			増減(人)	対前年度比(%)
市民ギャラリー等	69,748	73,972	△ 4,224	94.3
講座・講演会・コンサート等	8,949	8,224	725	108.8
合計	78,697	82,196	△ 3,499	95.7

3 観覧料収入・使用料収入・物品売払収入

区分	25年度(円)	24年度(円)	前年度対比	
			増減(円)	対前年度比(%)
観覧料収入	28,127,200	64,757,000	△ 36,629,800	43.4
使用料収入	5,708,730	6,061,660	△ 352,930	94.2
物品売払収入	50,364,497	92,623,132	△ 42,258,635	54.4
合計	84,200,427	163,441,792	△ 79,241,365	51.5

4 企画展の開催状況

会場	展覧会名	会期	観覧人数(人)
企画展示室	第5回老いるほど若くなる ※1	平成25年 3月5日(火) ～4月7日(日)	(25年度分) 目標 1,616 実績 1,253 (会期全体) 目標 8,000 実績 5,873
	柳宗悦展 ー暮らしへの眼差しー	4月20日(土) ～6月9日(日)	目標 11,000 実績 12,912
	「スタジオジブリ所蔵」 ーメアリー・ブレア原画展ー	7月19日(金) ～9月29日(日)	目標 30,000 実績 19,687

	藤松博展 －戦後美術の一断面－	10月12日(土) ～12月1日(日)	目標 8,000 実績 4,172
	モローとルオー －聖なるものの継承と変容－	12月20日(金) ～平成26年 3月23日(日)	目標 12,000 実績 11,559
25年度合計			目標 62,616 実績 49,583

※1 「老いるほど若くなる」の会期は2ヶ年度にまたがるため、平成25年度分及び会期全体の観覧者数を掲載しています。

2 松本市音楽文化ホール

活 動 の 概 要

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また、音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行いました。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で、活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や、積極的な育成援助を行います。

2 重点事業

(1) メインホール・リニューアルオープン企画

地震により被災したメインホールが4月にリニューアルオープンしたことから、記念コンサートとして「アンサンブルofトウキョウ」を開催し、多くのお客様をお迎えしたほか、23年度に開催する予定だった「オーケストラ・アンサンブル金沢」「セグレ&福田進一ギター・デュオ」を開催し、好評を得ました。

(2) 新たなジャンルの企画

クラシック中心のプログラムの中、ジャズコンサート「小曾根真&ゲイリー・パートン」を開催し、聴衆の熱狂的な歓迎を受けました。

3 自主事業

(1) 総 括

ホール主催・共催事業全体については、リニューアルオープン記念コンサートを含め、合計28事業を実施しました。鑑賞・参加人員の合計は23,960人で、目標とした17,430人に対し、6,530人、率で37.5%の増となりました。

また、自主事業収入（入場料）は25,929,400円で、目標とした23,760,000円に対し、2,169,400円、率で9.1%の増となりました。

(2) 内 訳

ア 招聘事業については、5事業を実施し、鑑賞者数は2,634人となりました。

イ 自主企画事業については、経常自主企画事業及び特別自主企画事業をあわせ、計8事業を実施し、鑑賞者数は4,706人となりました。

ウ 共催事業については、ハーモニーメイト主催「仲道郁代ピアノリサイタル」を含め、5事業を実施し、鑑賞者数等は15,381人となりました。

エ セミナー事業については、10事業を実施し、鑑賞者・参加者合計は1,239人となりました。

4 貸館事業

- (1) 貸館事業においては、年間利用者総数は91,878人で、目標とした106,000人に対し、14,122人、率で13.3%の減となりました。

また、施設等利用料金収入は17,649,535円で、目標額の20,000,000円に対し、2,350,465円、率で11.8%の減となりました。

- (2) 音楽団体活動支援については、音楽愛好団体等の活動の積極的な支援として「登録団体制度」に基づく施設利用料の一部減免を行い、減免額の総額は 2,598,760 円となりました。なお、年度末における登録団体数は 59 団体で、対前年度末 2 団体増となりました。
- (3) また、ホール友の会組織「ハーモニーメイト」に対する事業協力及び育成援助を行いました。

○育成援助（ハーモニーメイト事務局事務の取り扱い）

平成 26 年 3 月 31 日現在会員数：1,978 名（対前年度末比 602 名増）

}	個人会員： 346 人（対前年度比 112 人増）
	家族会員：1,456 人、446 家族（対前年度比 496 名増）
	団体会員： 176 名、18 団体（対前年度末 1 団体減、6 名減）
	賛助会員：9 団体（対前年度末同）

5 施設の利用促進

- (1) 施設管理業務に関しては、利用者懇談会等で出された意見を参考に、より利用しやすい施設として改善を図りました。
- (2) 自主事業演奏会時に実施している来場者アンケートを集約し、自主事業の企画の参考としました。
- (3) 自主事業の広報については、情報紙「ハーモニー」、音楽情報誌、新聞広告、ホール及び松本市公式ホームページへの掲載の他、新聞記事への掲載依頼により積極的に行いました。
- (4) 貸館事業等については、日々の清掃業務、設備管理業務等十分に行い、施設を最良の状態に保つよう努めました。
- (5) 職員は常に利用者の立場に立ち、親切でていねいな対応に努めました。

主 な 事 業 内 容

1 招聘事業（経常招聘事業）

区 分	目 標	実 績	達 成（%）
事業収入（千円）	11,400	13,016	114.2
参加人員（人）	2,200	2,634	119.7

番号	事 業 名（公演名等）	実施日	鑑賞者数 （人）	支出 （千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	小曾根真&ゲイリー・パートン	6/21	660	3,641	3,266	375
2	イル・デーブ	7/24	640	1,788	1,905	△ 117
3	堀米ゆず子 バッハーブラームスプロジェクト I	10/16	361	2,453	1,137	1,316
4	エヌエール・セグレ&福田進一 ギター・デュオ	3/1	311	1,381	887	494
5	アシュケナージ父子 ピアノ・デュオ	3/14	662	6,246	5,821	425
合 計			2,634	15,509	13,016	2,493

2 自主企画事業

（1） 経常自主企画事業

区 分	目 標	実 績	達 成率（%）
事業収入（千円）	1,060	1,242	117.2
参加人員（人）	1,600	2,273	142.1

番号	事 業 名（公演名等）	実施日	鑑賞者数 （人）	支出 （千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	第6回オルガントークコンサート	7/17	301	1,756	327	1,429
2	Xmas ファンタジー2013	12/8	507	2,936	577	2,359
3	新春オルガンコンサート	1/11	436	1,613	248	1,365
4	オルガン100円コンサート（年間6回）	5月～11月	1,029	1,539	90	1,449
合 計			2,273	7,844	1,242	6,602

(2) 特別自主企画事業

区 分	目 標	実 績	達成率 (%)
事業収入 (千円)	10,600	9,870	93.1
参加人員 (人)	2,050	2,433	118.7

番号	事 業 名 (公演名等)	実施日	鑑賞者数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
					事業収入	市委託料等
1	アンサンブル of トウキョウ	5/26	621	4,048	1,828	2,220
2	ザ・フレンチコネクション in 松本	11/21	604	4,310	2,748	1,562
3	オーケストラ・アンサンブル金沢 松本公演 VI	12/21	616	5,083	3,213	1,870
4	松本バッハ祝祭アンサンブルIV (講演会)	1/26	155	6,481	2,081	4,400
	〃 演奏会	2/11	437			
合 計			2,433	19,922	9,870	10,052

3 共催事業

区 分	目 標	実 績	達成率 (%)
事業収入	—	—	—
参加人員 (人)	11,100	15,381	138.6

番号	事 業 名 (公演名等)	実施日	鑑賞者数等 (人)
1	第34回 新人演奏会	4/21	263
2	第27回 島内灯籠まつり	8/4	12,000
3	S K F 松本 ふれあいコンサート I	8/21	610
	〃 ふれあいコンサート II	8/27	690
	〃 ふれあいコンサート III	8/30	600
4	仲道郁代 ピアノリサイタル	9/28	638
5	第28回 ニューイヤー・松本ボーカルフエスティバル	2/2	580
合 計			15,381

4 セミナー事業

区 分	目 標	実 績	達成率 (%)
事業収入 (千円)	700	1,801	257.3
参加人員 (人)	480	1,239	258.1

番号	事 業 名 (公演名等)	実施日	参加者数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
					事業収入	市委託料等
1	チェンバロ講習会 (年間6回/初回はミニコンサート)	5月~11月	156	1,006	274	732
2	オルガン講習会 Vol.47 (6回)	5~7月	92	647	156	491
3	オルガン体験/朝と夕べのハーモニー	8/2	205	857		857
4	オルガンレッスン	通 年	243	667	1,215	△ 548
	(レッスン修了コンサート:ふいごの唄)	3/16	147	570		570
5	宮下翔子ファゴットクリニック	6/15	3	20		20
6	管楽器クリニック (洗足学園講師)	10/6	229	530		530
7	須川展也サクソフォンクリニック	10/20	35	50		50
8	若林里佳フルートクリニック	11/9	8	20		20
9	オルガン講習会 Vol.48 (6回)	1~2月	76	570	156	414
10	弦楽合奏講習会 (講師=古典四重奏団)	2/9	45	50		50
合 計			1,239	4,987	1,801	3,186

◇ 自主事業収入 (入場料収入)

区 分	25年度 (円)	24年度 (円)	前年度対比	
			増 減 (円)	対前年度比 (%)
招聘事業	13,016,000	9,888,000	3,128,000	131.6
自主企画事業	11,112,400	2,680,600	8,431,800	414.5
セミナー事業	1,801,000	1,395,000	406,000	129.1
合 計	25,929,400	13,963,600	11,965,800	185.7

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分	25年度	24年度	前年度対比	
			増 減	対前年度比 (%)
メインホール				
利用日数 (日)	268	2	266	13,400.0
利用可能日数(日)	288	2	286	14,400.0
利用率 (%)	93.1	100.0	△6.9ポイント	
小ホール				
利用日数 (日)	279	284	△ 5	98.2
利用可能日数 (日)	291	287	4	101.4
利用率 (%)	95.9	99.0	△3.1ポイント	
練習室				
利用日数 (日)	284	281	3	101.1
利用可能日数 (日)	290	287	3	101.0
利用率 (%)	97.9	97.9	0.0ポイント	

2 施設別利用者数

区 分	25年度 (人)	24年度 (人)	前年度対比	
			増 減 (人)	対前年度比 (%)
メインホール	64,906	654	64,252	9,924.5
小ホール	16,918	23,641	△ 6,723	71.6
練習室	10,054	12,801	△ 2,747	78.5
合 計	91,878	37,096	54,782	247.7

3 施設等利用料金収入

区 分	25年度 (円)	24年度 (円)	前年度対比	
			増 減 (円)	対前年度比 (%)
ホール使用料	5,723,120	4,985,430	737,690	114.8
練習室使用料	2,534,615	3,092,675	△ 558,060	82.0
設備使用料	9,391,800	5,388,090	4,003,710	174.3
合 計	17,649,535	13,466,195	4,183,340	131.1

3 まつもと市民芸術館

活動の概要

1 基本目標

「まつもと市民芸術館管理運営方針」に基づき、市民に以下に掲げる「場」として提供できるよう貸館事業及び自主事業を展開しました。

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場
- (3) 市民が近づきやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場
- (4) これらを通じて、市民が交流する場
- (5) 美術館、音楽文化ホール、波田文化センターと連携した事業の創出

2 自主事業

全ての公演を10周年記念事業と位置づけ、48事業を実施しました。

(1) 創造・発信型事業

演劇と音楽とサーカスが渾然一体となった「空中キャバレー2013」や、平成16年の市民芸術館こけらおとしとして上演された「スカパン」を再上演しました。

特に「スカパン」は、串田和美芸術監督の緊急入院により2公演が休演したものの、無事、千秋楽を迎えることができました。

また、串田和美芸術監督19歳のときの処女戯曲を、演劇工場の工場長でもある加藤直氏が書き下ろした「月と太陽と泥棒と」を上演するなど、新たな串田ワールドを繰り広げました。

(2) 鑑賞招聘型事業

鑑賞招聘事業では、出演者の都合により「おのれナポレオン ライブビューイング」や「ベンダ・ビリリ」の公演が取りやめとなりましたが、中村勘九郎・七之助による舞踊「芯」、串田和美芸術監督の伝説的な作品でもある「もっと泣いてよフラッパー」のほか、恒例となった「藤原道山&SINSKE」のユニットによる尺八とマリмбаのコンサート、ピーピング・トムなど、現代演劇、古典芸能、コンテンポラリーダンス、音楽コンサートなどをバランスよく提供しました。

また、地元団体との協働による、市民参加の社交ダンスパーティーを2年ぶりに開催しました。

(3) 教育普及、育成、市民参加型事業

演劇工場(シアターファクトリー)も3年目を迎え、第2期生による半年間の取組みと、活動成果として制作した「いないいないバード」を上演しました。

また、鑑賞招聘型事業の出演者によるワークショップ(藤原道山、ニューヨークハーレムシンガーズなど)を開催し、単に鑑賞だけではなく、実際に体験いただく場も提供しました。

更に、定番となっている高校演劇では、講習会、発表会へのサポートのほか、串田和美芸術監督による地元高校演劇部への講習会を開催するなど、教育・育成にも注力しました。

(4) 観光・地域活性化協働事業

「信州・まつもと大歌舞伎」とともに隔年で夏のフェスティバルの一翼を担う「まつもと街なか大道芸」を7月に開催し、観客動員も前回は上回る約5万人を数えました。

また、サイトウ・キネン・フェスティバルと共同制作する「兵士の物語」は、串田和美芸術監督の演出による、新たな「兵士の物語」を公演しました。

(5) アウトリーチ事業

TCアルプの取組みとして保育園・幼稚園を中心にアウトリーチ事業を行ったほか、5月には松本市美術館でも公演を行いました。

また、松本・金沢都市間交流事業の一環として、金沢市の特設会場で「グリム・グリム・

グリム」を上演しました。

3 施設の利用促進

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう、専門的な立場から積極的に支援を行いました。
- (2) 一般利用では、午前8時30分から午後10時までが原則的な開館時間ですが、繰り上げや延長など利用者ニーズに応えるべく柔軟に対応しました。
その一方で、これまでと同様、利用予定のない日には閉館時間を午後8時に切り上げるなど省エネに対する取組みも継続して実施しました。
- (3) 公式ホームページを貸館利用者の使い勝手にも配慮した内容に更新し、会議・研修等も行える施設であることを周知しました。
- (4) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進しました。

4 協働推進事業

ボランティアを芸術館のパートナーとして位置付け、来館者サービスの向上を図るため、接遇研修や先進地視察、芸術鑑賞会などの育成援助を推進しました

5 その他

10周年記念の一環として、過去に行われた公演の写真やポスター、市民芸術館の模型をシアターパーク等に展示したほか、串田和美芸術監督デザインによるTシャツなどのグッズを**作製**しました。

また、「工芸の五月」と協力し、シアターパークに作品を展示したほか、どなたでも自由に主ホールを見学できる機会を設けるなど、より多くの方が気軽にご来館いただけるような工夫をこらしました。

主 な 事 業 内 容

1 自主事業

(1) 自主事業収入

区 分		目 標	実 績	達成率 (%)
事業収入 (千円)	入場料収入	73,450	88,030	119.9
	国庫補助金収入	23,000	53,543	232.8
	民間補助金収入	17,000	11,800	69.4
	負担金収入等	25,810	28,968	112.2
	計	139,260	182,341	130.9
参加人員 (人)		89,500	102,056	114.0

(2) 個別事業

ア 創造・発信型事業

実施時期	公演等の名称	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
					事業収入	市補助金
6/20～23	TCアルプ「月と太陽と泥棒と」	4	712	16,793	8,562	8,231
7/19～28	空中キャバレー2013	9	3,448	47,171	28,621	18,550
10/18～27	スカパン	6	1,220	24,084	11,123	12,961
計 (3事業)		19	5,380	88,048	48,306	39,742

イ 鑑賞招聘型事業

実施時期	公演等の名称	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
					事業収入	市補助金
4/20	平井千絵フォルテピアノコンサート	1	177	546	776	△230
5/4	藤原道山&SINSKEコンサート	1	276	597	1,066	△469
5/8	人生はガタゴト列車に乗って	1	1,186	0	147	△147
5/9	おのれナポレオン ライブビューイング	1	0	324	0	324
5/16	鼓童ワン・アースツアー2013	1	868	0	100	△100
5/17	デフ・パペットシアター	1	215	0	2	△2
5/23	立川志の輔落語	1	1,000	0	42	△42
6/21	BAYS (フラメンコ)	1	336	4,592	1,264	3,328
9/14～16	冒した者	3	688	6,331	4,017	2,314
9/30	芯	2	3,007	11,131	18,950	△7,819
11/4	清塚信也コンサート	1	588	0	31	△31
12/4	ショーシャンクの空に	2	670	0	55	△55
12/5	映画 中村勘三郎	3	590	36	579	△543
12/10	ザ・アイリッシュダンス	1	501	0	62	△62
12/11	ニューヨークハーレムシンガーズ	1	454	4,659	1,838	2,821

1/8	新春狂言公演 万作の会	1	973	4,721	5,788	△1,067
1/31	新春 大舞踏会(社交ダンスパーティー)	1	450	0	0	0
2/11	シャーロックホームズ	1	800	0	81	△81
2/23	ピーピングトム	1	269	3,337	738	2,599
3/7~9	もっと泣いてよフラッパー	4	2,831	30,048	22,233	7,815
3/12	宝塚歌劇団	2	3,340	0	213	△213
3/21	まつもと子どもたちの映画祭	3	1,800	0	0	0
3/29	cobaコンサート	1	200	0	32	△32
3/30	レ・フレールコンサート	1	1,000	0	76	△76
計 (24事業)		36	22,219	66,322	58,090	8,232

ウ 教育普及、育成、市民参加型事業

種別	実施時期	公演等の名称	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
						事業収入	市補助金
一般市民等を対象にしたワークショップ	5/5	藤原道山 WS	1	60	0	0	0
	6/18、10/22、1/10~1/12	近藤良平 WS	3	73	104	98	6
	11/23	キッズワールドWS	3	71	0	0	0
	11/30	まつもと演劇工場WS	1	26	0	0	0
	11/4、10、12/1、10	ニューヨークハーレムシンガーズWS	4	111	0	0	0
	2/24	ピーピングトムWS	1	25	0	0	0
	計(6業)			13	366	104	98
児童・生徒等を対象とした教育・普及事業	6/2、1/11	高校演劇講習会	2	337	57	210	△153
	9/5~7	青少年のためのオペラ	4	9,294	32,979	20,541	12,438
	9/21	高校演劇中信地区大会	1	700	0	0	0
	11/8~10	串田和美の高校生のための演劇WS	3	82	0	0	0
	11/23	キッズワールド 2013	1	1,440	4,888	1,687	3,201
計(5事業)			11	11,853	37,924	22,438	15,486
市民参加事業・その他	9/14~3/23	まつもと演劇工場	1	1,821	12,916	10,195	2,721
	3/21~23	「いないいないバード」	3	5,000	3,158	0	3,158
	9/25~29	中村勘三郎特別展	1	1,187	20,100	5,240	14,860
	12/23	市民オペラ「カルメン」	1	1,187	20,100	5,240	14,860

	3/28～29	バックステージツアー	3	100	8	0	8
	3/29	主ホール見学会	1	300	0	0	0
	計(6事業)		10	8,408	36,182	15,435	20,747
その他	通年	学芸費(「幕があがる」等)	-	-	36,775	38,735	△1,960
	計(17事業)		34	20,627	110,985	76,706	34,279

エ 観光・地域活性化協働事業

実施時期	公演等の名称	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入 (千円)	
					事業収入	市補助金
7/14	まつもと街なか大道芸	1	50,000	4,446	0	4,446
8/22～27	兵士の物語	5	1,800	43,995	31,191	12,804
	計(2事業)		6	51,800	48,441	17,250

オ アウトリーチ事業 (TCアルプ 『Grimm Grimm Grimm』)

実施時期	場 所	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入 (千円)		
					事業収入	市補助金	
4/21	今井公民館	1	80	-	-	-	
8/30	内田保育園	1	100				
8/31	松川村公民館	1	140				
9/5	島内保育園	1	200				
11/5	平田保育園	1	130				
11/6	梓川西保育園	1	140				
11/7	極楽寺	1	70				
11/8	深志保育園	1	130				
11/20	渚保育園	1	120				
11/21	笹部保育園	1	200				
11/25	小宮保育園	1	180				
11/26	双葉保育園	1	120				
11/28	あがた保育園	1	220				
5/3	松本市美術館	1	50				
11/16	松本・金沢都市間交流事業	2	150				1,693
	合 計(2事業)		16	2,030	1,693	1,196	497
	(ア)～(オ)合計(48事業)		111	102,056	315,347	215,347	100,000

2 貸館事業

区 分	25年度 (件)	24年度 (件)	前年度対比	
			増減(件)	対前年度比(%)
市主催等	33	30	3	110.0
一般利用	243	276	△33	88.0
合 計	276	306	△30	90.2

3 その他の取組み

- (1) 広報ニューズレター「幕があがる」 4回発行
- (2) 市広報「松本市芸術カレンダー（全戸配布）」 2回発行
- (3) スケジュールガイド「MPAC」 6回発行
- (4) ダイレクトメール会員の登録と情報提供
平成25年度末現在、登録会員数 2,966人（平成24年度末 2,645人）
- (5) メールマガジンの発行
ホームページをリニューアルし、メールマガジンの発行を開始 登録会員2,647人（平成24年度末 2,202人）
- (6) ホールボランティアの登録と公演協力
平成25年度末現在、登録者数81人（平成24年度末 99人）
 - ア 自主公演に対するボランティア
チケットもぎり、チラシ配り、クローク、座席案内等
参加公演数 16公演 延べ参加人数177人
 - イ ボランティアと職員が一同にフロントスタッフ研修を開催
ボランティア参加者数 6人
 - ウ 先進地視察
ホールボランティア活動の活発な先進地（静岡県 コンベンションアートセンター グランシップ）を視察 ボランティア参加者数 7人
 - エ まつもと市民芸術館自主事業の事前見学会などの公演見学
- (7) シアターパーク等の活用
過去10年間に行われた公演などの写真やポスター、市民芸術館の模型などを展示したほか、「工芸の五月」関係者による作品の展示

施設利用状況

1 施設別利用状況

施設	年度	利 用 日 数 (日)				利 用 可 能 日 数 (日)	利 用 率 (%)
		自 主 事 業	貸 館		計		
			市 主 催	一 般			
主ホール	25年度	89	41	114	244	303	80.5
	24年度	92	33	137	262	302	86.8
	比較	△3	8	△23	△18	1	△6.3
小ホール	25年度	107	25	118	250	315	79.4
	24年度	85	14	130	229	313	73.2
	比較	22	11	△12	21	2	6.2
オープンスタジオ	25年度	126	62	29	217	331	65.6
	24年度	114	54	41	209	328	63.7
	比較	12	8	△12	8	3	1.9
スタジオ2	25年度	167	51	20	238	332	71.7
	24年度	204	38	43	285	328	86.9
	比較	△37	13	△23	△47	4	△15.2
スタジオ3	25年度	62	55	58	175	330	53.0
	24年度	91	52	37	180	329	54.7
	比較	△29	3	21	△5	1	△1.7
スタジオ4	25年度	72	56	14	142	329	43.2
	24年度	91	52	37	180	329	54.7
	比較	△19	4	△23	△38	0	△11.5
M2会議室	25年度	42	58	48	148	331	44.7
	24年度	56	48	84	188	330	57.0
	比較	△14	10	△36	△40	1	△12.3

2 来館者数

区 分			25年度		24年度		前年度対比		対前年度比 (%)	
			増 減		回数	人数(人)	回数	人数(人)		
			回数	人数(人)						回数
主ホール	音楽系	クラシック	8	68,968	23	77,732	△ 15	△ 8,764	88.7	
		ポピュラー	31		20		11			
		邦楽	4		6		△ 2			
		その他	0		10		△ 10			
		オペラ	13		2		11			
	芸能系	ミュージカル	1	35,325	1	54,494	0	△ 19,169	64.8	
		演劇	49		23		26			
		古典芸能	6		4		2			
	舞踊系	バレエ、日舞、ダンス	18	10,626	11	6,655	7	3,971	159.7	
		その他	40		131		38,404			△ 91
計			170	151,484	231	177,285	△ 61	△ 25,801	85.4	
小ホール	音楽系	クラシック	18	5,344	23	6,951	△ 5	△ 1,607	76.9	
		ポピュラー	24		12		12			
		邦楽	9		5		4			
		その他	0		7		△ 7			
	芸能系	演劇	18	3,513	9	3,164	9	349	111.0	
		古典芸能他	2		5		△ 3			
	舞踊系	バレエ、日舞、ダンス	3	550	2	474	1	76	116.0	
	その他	大会、集会、収録、リハーサル	60	5,922	43	5,055	17	867	117.2	
	計			134	15,329	106	15,644	28	△ 315	98.0
	スタジオ・会議室			—	12,637	—	9,996	—	2,641	126.4
見学他			—	29,986	—	29,591	—	395	101.3	
合 計			304	209,436	337	232,516	△ 33	△ 23,080	90.1	

3 利用料金収入・自主事業収入・補助金等収入・負担金収入

区 分	25年度 (円)	24年度 (円)	前年度対比	
			増 減 (円)	対前年度比 (%)
利用料金収入	25,516,905	33,262,900	△ 7,745,995	76.7
自主事業収入	88,030,185	73,807,735	14,222,450	119.3
補助金等収入	66,483,000	48,068,000	18,415,000	138.3
負担金収入	28,968,890	24,700,000	4,268,890	117.3
合 計	208,998,980	179,838,635	29,160,345	116.2

※補助金等収入には松本市自主事業補助金(1億円)は含まない。

4 松本市波田文化センター

活 動 の 概 要

1 基本目標

指定管理者制度導入の初年度に当たり、西部地域の拠点として以下に掲げる基本目標に基づき、多くの市民の皆さんに利用・参加いただけるよう、貸館事業および自主事業を展開しました。

- (1) 多目的な利用を図れる特徴を活かした小ホールの利用
- (2) 市民や音楽団体との共催事業を通じた地域密着型の事業
- (3) 音楽愛好団体等の活動の支援を行った貸館事業
- (4) 指定管理施設相互の連携

2 自主事業

(1) 鑑賞型事業

ア 「小松亮太スペシャルトリオin波田」

遠方からの来場もあり、多くの方にアルゼンチンタンゴの魅力を堪能していただきました。また、バンドネオンという珍しい楽器をチラシで紹介し新しい客層の取込みも図りました。

イ 「世界の名曲さんぽ：おしゃべりコンサート」

地元出身の3人の音楽家によるクラシックコンサートを実施しました。初めての方でも気軽に来場できる選曲などの工夫をし、当日は満席の公演となりました。

(2) 市民参加型事業

ア 「波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート2013」

今年度出場したベルギーのコンクールから事務局の方々を迎え、アニメソングから合唱曲まで幅広い楽曲を披露しました。

イ 「くるくるトンデモ☆サーカス デラックス」

地元との取組みとして波田の2つの保育園での出前パフォーマンスも行いました。本公演も大勢の親子が来場し、歓声と笑い声の絶えないステージになりました。終演後はロビーでジャグリングが体験できる場を設け、大人から子どもまで夢中で遊ぶ場面が見られました。

ウ 「第14回ピアノカーニバル」

ベーゼンドルファーに触れられる機会として、公募により34組の方々に出演していただきました。参加者への説明会も実施し、不安のない中で十分に演奏に集中していただくよう努めるとともに、観客サイドに立って開演時間の見直しやメリハリのある司会進行などの工夫をし、今まで以上に“聴いても楽しい”コンサートとしました。

3 施設の利用促進

貸館については、利用者と事前の丁寧な打ち合わせを必ず行うなどして、催し物が円滑に進むようにサポートし、次回の利用にも繋がるよう、利用者目線での対応を心がけました。また、開館時間についても、繰り上げや延長利用等に柔軟に対応しました。

主 な 事 業 内 容

1 自主事業

公演日	公演等の名称	公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入(千円)	
					事業収入	市補助金
5/26	波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート 2013	1	157	119	81	38
7/27	小松亮太スペシャルトリオ in 波田	1	227	1,610	745	865
10/5	世界の名曲さんぽ:おしゃべりコンサート	1	278	410	213	197
11/23	くるくるトンデモ☆サーカス デラックス	1	215	605	155	450
2/2	第14回 ピアノカーニバル	1	184	73	0	73
	共通経費(チケット台紙作製等)			49		49
計 (5 事業)		5	1,061	2,866	1,194	1,672

※「くるくるトンデモ☆サーカスデラックス」のアウトリーチとして、以下の保育園が参加(鑑賞)しました。

日時	場 所	参加人数(人)
11/13	波田中央保育園	104
11/15	淵東保育園	76
合 計	計(2箇所)	180

2 貸館事業

区 分	25年度 (件)	24年度 (件)	前年度対比	
			増 減	対前年度比(%)
一般利用	479	334	145	143.4
減免利用	134	140	△6	95.7
全額減免利用	66	72	△6	91.7
合 計	679	546	133	124.4

施 設 の 利 用 状 況

1 施設別利用状況

施設	年度	利用日数 (日)	利用可能 日数(日)	利用率 (%)
アクト ホール	25年度	92	275	33.5
	24年度	91	284	32.0
	比較	1	△9	1.5
練習室	25年度	190	283	67.1
	24年度	157	284	55.3
	比較	33	△1	11.8
第1会議室	25年度	42	283	14.8
	24年度	61	284	21.5
	比較	△19	△1	△6.7
第2会議室	25年度	89	283	31.4
	24年度	51	284	18.0
	比較	38	△1	13.4
第3会議室	25年度	190	283	67.1
	24年度	145	284	51.1
	比較	45	△1	16.0
ハイビジョ ンシアター	25年度	15	283	5.3
	24年度	9	284	3.2
	比較	6	△1	2.1
展望室	25年度	8	283	2.8
	24年度	8	284	2.8
	比較	0	△1	0
ギャラリー	25年度	40	283	14.1
	24年度	16	284	5.6
	比較	24	△1	8.5

2 来館者数

施 設	2 5 年 度		2 4 年 度		前年度対比		
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	増 減		対前年度比 %
					件数(件)	人数(人)	
アクトホール	98	9,368	96	11,921	2	△ 2,553	78.6
練習室	267	2,566	198	2,781	69	△ 215	92.3
第1会議室	44	908	66	1,085	△ 22	△ 177	83.7
第2会議室	92	953	50	631	42	322	151.0
第3会議室	203	3,170	146	2,451	57	719	129.3
ハイビジョンシアター	15	182	11	291	4	△ 109	62.5
展望室	8	46	8	67	0	△ 21	68.7
ギャラリー		757		177		580	427.7
見学等		59		15		44	393.3
合 計	727	18,009	575	19,419	152	△ 1,410	92.7